

# 6

## 3D 施工

線形を利用して計測位置の計画横断形状を表示し、水平離れ・垂直離れ・鉛直離れを確認しながら、位置の誘導や丁張の設置などをおこないます。

### 6-1 点検・検査（線形利用）をおこなう

計測位置と計画横断形状、線形、変化点までの離れを確認します。

- 1 ホーム画面の [3D施工] をタップします。

- 2 [点検・検査] をタップします。



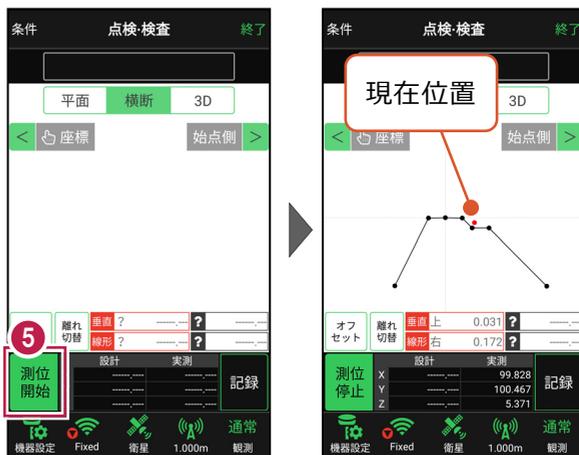
- 3 観測する線形、構築形状など条件を設定します。

- 4 [点検・検査] をタップします。  
点検・検査が起動します。



- 5 [測位開始] をタップすると、GNSSによる測位が開始されます。

現在位置が「赤丸」で表示されます。



### 以降の手順は

計測位置に移動して、横断形状との「垂直離れ」「線形離れ」、変化点までの「離れ」などを確認し、計測位置の座標の記録をおこないます。

詳しくは「基本操作」の「7 3D施工」の

「7-1 点検・検査（線形利用）をおこなう」を参照してください。

## 6-2 点検・検査（線形なし・TIN利用）をおこなう

TIN（設計面）を利用して、計測位置と設計面までの離れを確認します。

### ■ 点検・検査（TIN）を起動します

1 ホーム画面の [3D施工] をタップします。

2 [点検・検査（TIN）] をタップします。



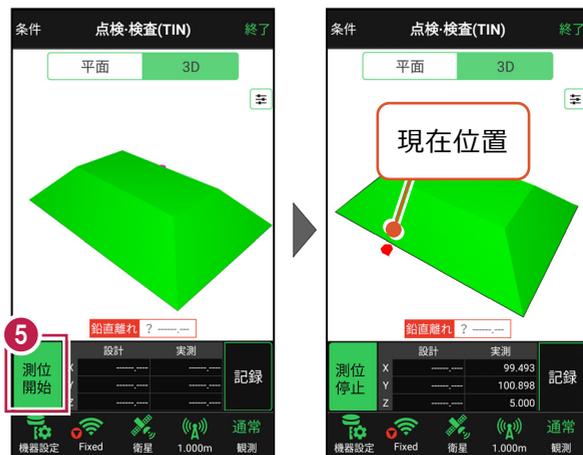
3 観測する「TIN」の選択など、条件を設定します。

4 [点検・検査（TIN）] をタップします。  
点検・検査（TIN）が起動します。



- 5 「測位開始」をタップすると、GNSSによる測位が開始されます。

現在位置が「赤丸」で表示されます。



### 以降の手順は

計測位置に移動して、計測位置と設計面までの「離れ」を確認し、計測位置の座標の記録をおこないます。

詳しくは「基本操作」の「7 3D施工」の

「7-2 点検・検査（線形なし・TIN利用）をおこなう」を参照してください。

## 6-3 丁張を設置する

線形の管理断面や任意断面に、水平離れ・垂直離れ・鉛直離れを確認しながら、丁張を設置します。

- 1 ホーム画面の [3D施工] をタップします。

- 2 [丁張] をタップします。



- 3 観測する線形、構築形状など条件を設定します。

- 4 [丁張] をタップします。  
丁張が起動します。



- 5 「測位開始」をタップすると、GNSSによる測位が開始されます。

現在位置が「赤丸」で表示されます。



### 以降の手順は

丁張を設置する断面と法面を指定して設置位置に移動し、「断面離れ」「水平離れ」「標高」「垂直離れ」「法長」などを確認しながら丁張を設置します。

詳しくは「基本操作」の「7 3D施工」の「7-3 丁張を設置する」を参照してください。

## 6-4 構造物モデル計測をおこなう

TIN（構造物）を利用して、構造物の角を計測します。

### ■ 構造物を起動します

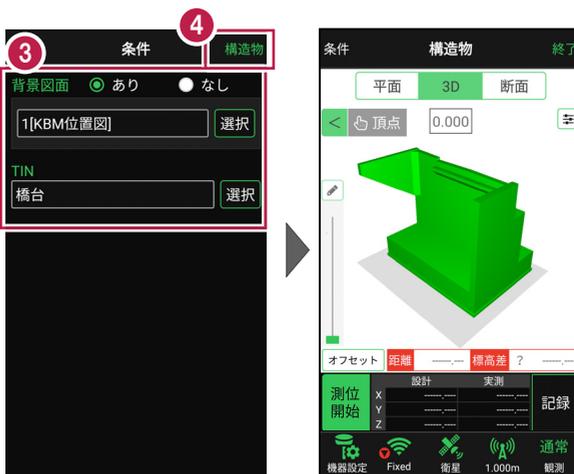
1 ホーム画面の [3D施工] をタップします。

2 [構造物] をタップします。



3 観測する「TIN」の選択など、条件を設定します。

4 [構造物] をタップします。  
構造物が起動します。



- 5 「測位開始」をタップすると、GNSSによる測位が開始されます。

現在位置が「赤丸」で表示されます。



## 以降の手順は

構造物の角を指定して設置位置に移動し、TIN（設計面）との離れや座標を確認し、計測位置の座標の記録をおこないます。

詳しくは「基本操作」の「7 3D施工」の

「7-4 構造物モデル計測をおこなう」を参照してください。